

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 3 月 3 日作成)

小委員会名	骨材品質検討小委員会		主 査 名：清水昭之 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)		委員長名：梶田佳寛 主 査 名：阿部道彦
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>最近の多様化する骨材事情の把握と、新たな骨材の基準化のための資料整備を目的とする。</p> <p>2007 年：JASS5 大改定に伴う再生・各種スラグ骨材の規格・基準の取り込みの見直しの検討、「人工骨材の技術の現状」刊行のための調整</p> <p>2008 年：継続</p> <p>2009 年：継続</p> <p>2010 年：骨材品質のアンケート調査、新たな骨材に関する情報収集</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：なし</p> <p>主査 清水 昭之(東京理科大)、幹事 阿部 道彦(工学院大)、伊藤康司(全生連)、井上和政(竹中)、菊地雅史(明治大)、立屋敷久志(三菱マテリアル)、棚野博之(建研)、仁村誠二(大阪工大)、萩ノ谷克範(都市公団)、畑中重光(三重大)、藤木英一(メサライト)、真野孝次(建材試験センター) 他 1 名</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	人工骨材WG：最近の人工軽量骨材の動向を調査して、技術の現状をまとめる		
2010 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 人工骨材の技術の現状に関する資料が整理された。(2007)</p> <p>2. 各種スラグ骨材の規格・基準の見直しを行った。(2008)</p> <p>3. 「人工骨材の技術の現状」を刊行できなかった。(2010)</p>
委員会活動の問題点 ・課題	

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。